

県立三好病院

平成26年7・8月号

今の特集：^{とうこつ} 橈骨遠位端骨折 について



5階 整形外科・泌尿器科・小児科病棟スタッフです！

臨時看護師募集

県立三好病院では臨時看護師、
臨時准看護師を随時募集しています。
詳しくは県立三好病院看護局
(0883-72-1131) まで

～県立病院事業基本理念～

県民に支えられた病院として県民医療の最後の砦となる

発行 徳島県立三好病院 広報委員会

〒778-8503 徳島県三好市池田町シマ815-2
TEL 0883-72-1131 FAX 0883-72-6910
HP <http://www.tph.gr.jp/~miyoshi/>

御意見・御要望がございましたら、ホームページ、または院内御意見箱まで
お願いします。広報バックナンバーは、ホームページにて御覧になれます。

とうこつ 橈骨遠位端骨折について

整形外科 高井通宏

1. はじめに

高齢者では年齢・性別による差はあるものの、徐々に骨粗鬆症が進行してきて骨が脆くもろなっています。そのため、若年者と比較すると転んだ時・身体をどこかにぶつけた時などに骨折してしまう可能性が高くなっています。高齢者の骨折の中で特に多いのは大腿骨頸部（転子部）骨折、胸腰椎圧迫骨折、橈骨遠位端骨折の3つです。そのなかでも今回は橈骨遠位端骨折についてお話します。

2. 橈骨遠位端骨折とは

橈骨遠位端骨折は手首の骨折です。その多くは転倒して手をついた時に骨折します（図1）。骨折した時の骨のずれ方によってコーレス骨折、スミス骨折など名前がついています。手首には橈骨・尺骨という2本の骨（図2）と8つの手根骨があり、橈骨が最も骨折しやすい骨です。橈骨が骨折した時に尺骨が同時に骨折をすることもあります（図3）。



図1



図2



図3

3. 症状は

手首の痛み、腫れがあり、痛みのために手首は動かせなくなります。指を動かしても（特に親指）痛みが響くため指の動きも制限されます。骨折後は適切な処置をしないと腫れが強くなって痛みが増強したり、治療の時に骨折のずれを戻しにくくなったりするため、骨折したかもしれないと感じた時はできるだけ早く病院を受診して適切な処置を受けることが大切です。

4. 治療について

治療には大きく分けて手術療法と、手術をしない保存療法があります。

1) 保存療法

手首の骨折はギプスを巻いて治療するイメージが強い方も多いと思います。実際、橈骨遠位端骨折では保存療法で十分治療可能な場合が多いです。

骨折して病院を受診し、レントゲンを撮って橈骨遠位端骨折と診断された後、まずは骨折によって生じた骨のずれを戻します。これを整復といいます。かなり痛いですが、もしかすると骨折した瞬間よりも痛いかもかもしれません。大変な思いをして骨折を戻した後、ギプスを巻いて手首を固定します（図4）。

ギプス固定は4～6週間行います。そのあとはギプスはずして自由に動かせるようにします。痛みと長い間固定して関節が固まってきてしまうため最初はあまり動かさせませんが、自分で動かす練習をしたり、日常生活で手を使っているうちに徐々に動かせるようになっていきます。「心配だから、痛いから」と言って骨折した手を大事にし過ぎると、かえって動かない・使えない手になってしまうのでギプスはずした後はしっかり動かす練習をするのが大切です。順調に回復すれば、骨折してから3～4か月程度で日常生活にほぼ支障がないレベルまで回復します。



図4

2) 手術療法

橈骨遠位端骨折の中でも骨折部のずれが大きい場合、粉砕が強い場合は手術を行います。また、早期の職場復帰などを希望される場合は保存療法で治療可能な骨折でも手術を行うことがあります。

手術では手首の手のひら側を6cm程度切開し、腱や神経をよけて橈骨を直接見て操作を行います。手術中にレントゲンで確認しながら骨のずれを戻し、金属のプレートをそわせてその上から骨にネジを打って骨折した骨を固定します（図5）。固定ができれば切開した筋肉や皮膚を縫合して手術を終えます（図6）。



図5



図6

麻酔は伝達麻酔と言って腕だけがしびれて痛みを感じなくなる麻酔で行うことが多いです。そのため手術中は意識があります。骨折が複雑で手術時間が長くなると予想される場合や、どうしても全身麻酔を希望される方には全身麻酔で手術を行うこともあります。

手術の後は特に固定は必要ありません。早期に手首や指の運動を行います。早ければ術後1か月半～2か月程度でかなり使えるようになります。ただし、重いものを持つなど、強い負荷がかかるような重労働は骨折部に負担がかかり過ぎるため、3か月間は重労働を控えて、軽作業のみ許可するようにしています。

保存療法、手術療法いずれの方法でも自宅で行うリハビリテーションがその後の手の使いやすさに大きな影響を与えます。自分一人で行えるリハビリにはある程度限界があるので必要な方には通院リハビリテーションが可能な病院を紹介します。

